

平成23年度 第2回日本粘土学会常務委員会議事録

日時：平成23年1月22日(土) 13:00~15:00

場所：早稲田大学西早稲田(理工)キャンパス55号館
N棟1階 第二会議室

出席者(順不同, 敬称略)

井上, 山田, 八田, 會澤, 上原(誠), 岡田, 河野,
佐藤(努), 篠原, 鈴木(正), 田村, 日比野, 宮脇,
山崎, 土信田, 地下(記)

1. 会長挨拶

井上会長より, 新体制について協力要請がなされた。

2. 報告事項

- (1) 粘土科学の発行・編集状況(篠原)：第49巻2号の発行報告ならびに49巻3号は2011年3月末, 第50巻1号は2011年8月発行予定であることが報告された。
- (2) Clay Scienceの発行・編集状況(會澤(代理)・上原・地下)：Vol.14 No.4 (2010年6月), Vol.14 No.4 (2010年9月), Vol.14 No.4 (2010年12月)の発行報告ならびに2011年3月発行予定の特集号についての編集状況を含め, 今後の発行予定について報告があった。また編集委員として海外から4~5名選出予定であることが報告された。
- (3) 会計 中間報告(土信田)：中間収支状況が報告された。
- (4) 行事(土信田)：Asian Clayの決算を含めた50周年基金の中間収支報告があった。
- (5) 国際協力(佐藤)：今後のAsian Clayの開催に関して, 各国の代表が選出され, 連絡組織が結成されている旨が報告された。また, 第2回Asian Clayの開催に関して韓国が引き受けてくれており, 内容を検討中であるとの報告があった。
- (6) 企画
 - ①標準粘土(宮脇)：これまで15件の依頼があったこと, ならびに標準粘土の分析資料の学会HP上での公開に関する検討事項の報告があった。また, 新たな標準粘土としてセピオライト・パリゴルスカイトの提供を検討中である旨が報告された。
 - ②シンポジウム(田村)：第55回粘土科学討論会でのシンポジウムに関しての進捗状況が報告された(別紙)。
 - ③ホームページ(岡田)：2010年10月より学会HPの英語バージョンが大幅に更新され, 公開されていることが報告された。
- (7) 庶務 会員動向(山崎)：会員の動向に関して報告があった。
- (8) 連合等(山崎)：日本地球惑星科学連合, 日本学会議学術誌問題検討分科会, J-STAGEフェア2010に関して, 報告があった。第3回学術会長会議の報告として科研費のキーワード改訂の検討について,

日本学会議会員および連携会員の候補者に関する情報提供について, 理学・工学分野の科学・夢ロードマップについて, それぞれ説明がなされた。JSTの登録の停止に関しても報告があった。

(9) 事務局(土信田)：協賛3件について報告があった。

(10) その他

- ①第54回粘土科学討論会優秀講演賞について(井上)：第54回粘土科学討論会優秀講演賞に関して報告があった。既に粘土科学に掲載済みである。
- ②JST電子アーカイブ化の進捗状況(土信田)：契約終了および開始の報告がなされた。
- ③会誌の印刷所の選定について(八田)：印刷所の選定について, 数社の見積の結果が報告された。

3. 審議事項

- (1) 第55回粘土科学討論会について：河野委員より進捗状況と予定について説明があり, 以下の点が審議され, 承認された。
 - ・発表申込は, J-STAGE使用以前に行われていた形式と同様, 電子メールおよび申込用紙の郵送により行う。
 - ・発表申込時の講演概要については, 討論会終了後に粘土科学に掲載する。掲載する旨を「第55回粘土科学討論会のお知らせ」に明記する。
 - ・見学会の申し込みに関して, 申込の受付開始(6月13日(月))と終了日(6月24日(金))を「第55回粘土科学討論会のお知らせ」に明記し, 先着順20名とする。
 - ・共催に関して, 事務局が確認を行う。
- (2) プログラムについて：鈴木プログラム委員長より第55回粘土科学討論会のプログラムに関して説明があり, シンポジウム講演者の推薦依頼があった。また, 以下の点が審議され, 承認された(別紙)。
 - ・シンポジウムの会員外の方への講師依頼に関して, 交通費支給なし・参加費無料・懇親会費無料招待・要旨の提出・シンポジウム寄稿を依頼条件とすることとなった。尚, 会員の方には交通費支給なし・参加費および懇親会費有料・要旨の提出・シンポジウム寄稿が依頼条件となった。
- (3) 第2回Asian Clayについて：八田常務委員長より第2回Asian Clayと第56回粘土科学討論会の開催について説明がなされた。両会の開催形態・運用について審議された。第2回Asian Clay開催国の韓国と連絡を取り, 運営等について今後も検討することとなった。
- (4) その他
 - ①会誌特別号の編集に関して(井上)：会誌特別号の編集作業に関して審議され, 次のように承認された。特別号の編集作業について, 担当編集委員は投稿原稿の最終原稿受取までを担当し, 受け取った最終原稿を会誌の編集委員長に送付する。その後, 採択通知を会誌の編集委員長が著者に送ることとする。

以上